

# 文教民生常任委員会 一般会議

- 平成28年2月9日(火)／「地域医療検討会」
- 平成28年2月16日(火)／「地域医療を支える市民の会」
- 平成28年2月18日(木)／「西脇小児医療を守る会」

## 「地域医療検討会」との一般会議

1 開催日 平成28年2月9日(火) 午後7時30分～8時30分

2 場所 西脇市多可郡医師会館

3 出席者

(1) 地域医療検討会(15名)

藤田位(西脇市多可郡医師会会長)、村上典正(西脇市多可郡医師会副会長)、岩井正秀(西脇病院長)、木村充(西脇病院副院長)、来住泰幸(西脇市多可郡薬剤師会会長)、藤本美佐緒(西脇中)、達可健太朗(西脇東中)、上野翔平(西脇南中)、新保安章(黒田庄中)、岸本雅彦(西脇病院)、仁木範子(西脇病院)、藤原典子(西脇病院)、玉田祐子(桜丘訪問看護ステーション)、塩崎さゆり(健康課)、池田勝雄

(2) 文教民生常任委員会(8名)

司会／村井正信委員長

記録／岡崎義樹

委員／坂部武美、浅田康子、松本和幸、宮崎春貴、中川正則、高橋博久

(3) 総務産業常任委員会(6名)

古西祐子、村岡栄紀、高瀬洋、東野敏弘、岩崎貞則、林晴信

(4) 傍聴人(1名)

村井公平議長

4 以下、会議概要

○ あいさつ／坂部武美副委員長

地域医療検討会には医療フォーラムをはじめ、様々な活動をしていただいておりますことを感謝申し上げます。地域医療を守る条例が施行されて4年が経過します。委員会では再度、地域医療について調査することになりました。本日は、検討委員会の皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○ 検討会の経過説明／村上典正事務局長 地域医療検討会の歩みなどを説明

○ 検討会と議員の自己紹介

○ 意見交換

議会／初めは黒田庄中学校だと思いましたが、その授業参観に参加したときにすごいなと感じた。今回、地域医療についての取り組みをやろうと思ったのもこの条例の検証を兼ねています。子どもたちの授業を去年の地域医療フォーラムで作文発表があり、子どもたちの感性のとらえ方を聞かせていただき、最初の授業とフォーラムで2回見せていただいた。その内容的なもので次々と新しいものもあり、先ほど村上先生がおっしゃったことと毎年同じような授業を10年間すれば、それだけ丁寧に広がるなと感じました。現場で子どもたちに授業をされた上で、子どもたちにしっかりと抑える部分など、その辺りを教えていただきたいのですが。

検討会／それぞれ思いがあって、初めてではないのですが授業としては公民の中の地方自治の分野があります。署名を集めて、たとえば条例の制定とか直接請求権が出てきますので、自分たちが活動すれば、声が反映されるんだと、そういう所を実際にいい例があるので、自分たちの行動で変えていくことができるんだと言う所が一番に重点

にしています。

検討会／公民の授業で自分たちの力で行政を動かす、まちを動かすいうところを学ぶ上で、現在の西脇の課題を実際に目の前にして取り組めるのは、やはり将来西脇で生活していく子どもたちにとっては、身近に感じて自分たちの事を自分たちの子孫に関わってくるという意識を持たしてやっていく事が大事です。地域医療はよい材料ではあると思っています。

議会／医療に係るのはなぜいいのか。なぜ医療を題材にされたのですか。

議会／条例ができたことによって、結局市民に反映された事なのではないでしょうか。

検討会／最初、平成24年に東北播全体の社会医療研究授業で地域医療をテーマで取り上げられて、その時、歴史と公民の緊急授業をしたことがきっかけです。

議会／その後、黒田庄中学校と西脇小学校でされて、見に行ってみましたが、中学校から小学校へもっと広げるために、何か考えているのですか。

検討会／地域医療検討会では、小学校にも最初は関わりましたが、内容的に難しいと思いき、しっかりと知識として学ぶためには中学校がいいのではないかと、高校に入ってしまうとバラバラになるので、中3の時は公民があるので勉強をしてもらおう。地域の授業のとき繊維関係を取り上げてきたがマンネリ化してきたと聞きました。ふと気が付くと医療の事でお母さん方がこんな形を地域から行政を掛け合いながらやってきた事のいい例があるのではないかと、そういう事から先生が授業を始められました。

検討会／医療崩壊の波を一番最初に被るのは病院です。いろんな方々が、立ち上がってくれて病院も頑張った。これで安泰やと思われたら非常に困るので、そこを何とか私たちは頑張ったけれど、次のために、医療はどんどん変わってきていますので、次は君たちにも頑張ってもらわないと言うのを伝えていかなければいけない部分だと思っています。

議会／社会科の公民の授業というのは週何時間ぐらいとられているのですか。

検討会／授業は1時間、その後、講演として話を聞くのに1時間です。

議会／中学校ではそういう形で統一されているのですか。

検討会／50分授業の中で地方自治、条例は10分程度、それを深めて、地域と関連した所を入れており、1時間程度で十分です。いろんな資料も使っているのでできると思っています。

議会／地域医療条例は平成24年施行ですが、地域医療は広い。いろんな課題があると思いますが、今の現状で課題は何か、その解決策は、あるいは地域医療を守る条例をもっとバージョンアップさせるとすれば、どういう手を加えるか、何か感じられることはありますか。

検討会／不都合と言うものはありませんが、地域の医療がなくなることは地域の崩壊につながるとなっています。西脇病院を守る事から始めて、医療だけでなく、すべて西脇における医療そのものを守っていくためには、どうすればいいかを常に考えていますが、なかなか地域医療検討会の中では答えが出にくい。その為にはまずこんなことがあったんだと言う事実を伝えていくこと、崩壊になっている、追われてしまっている、実際見えていない状況で今も検討してもらっているということを考えながら、まずは現在ではやれる事はやっていく事で中学生の勉強会や西脇病院の病院フェスタに取り組むことが大切だと思っています。

議会／地域医療の方の中から、こうすればもっと活動がしやすくなるのか、もっと地域医療が守れるのかを言ってもらったら議会でも条例改正とか、もちろん我々議員も努力をし

ていかなければと思うのですが、この意見交換会の中で、意見が出ればいいなと思っているのですが。

検討会／私の一個人の意見ですが、もっと関心を持っていただきたい。年1回でいいから3つの事業のどれかに参加しなければいけないという気持ちがあれば、もっと変わってきたと思います。

議会／市民の方へ啓蒙活動をされていますが、11月の議会報告会で夜に具合が悪くなって西脇病院に電話を入れた。10分後に来てくださいと言われて、30分待たされたと言句をいう人がおられました。これが市民の実態であり、まだまだ理解されていません。難しい問題ですが、どうやって浸透させていけばいいのでしょうか。

検討会／徐々に伝わっていると思いますので10年後を楽しみにしています。

議会／子どもに伝えると親にも伝わると思うのですが。

検討会／病院の現場ではそういう方もまだおられますが、昔に比べたら、かなり西脇市多可町の住民の方々が無駄な救急医療をしないとか、小児医療のコンビニ受信はしないとか、他の所とちょっと差があるように思います。やはり病院を大事するという意識、条例を制定したこともあるでしょうが、活動のおかげもあり、非常に病院の中でも感じるし、実際に数値的にも減っています。

検討会／私も学会で発表しましたが、実際に数字として、不要な救急受診とかに関しては減っています。例えば学校で頭をこつんと打ったとか、西脇の学校からも激減しました。地域医療の取り組みは西脇市以内ではかなり効果がありますが、まだまだ全国的には変わらないのが現状だと思います。

議会／かかりつけ医について、市民の意識は変わってきましたか。

検討会／かかりつけ医と言う観点から地域連携というシステムに取り組んでいます。行政とも協力し、地域包括ケアとして、それを動かしてはじめています。

検討会／今年4月の改定でかかりつけ医の制度について、診療報酬としての点数制度の方向へと変わってきます。それだけでは十分でないと言われますが、促進される事は限られます。

検討会／以前は、病院でないといややという方がおられました。確かに病院でないで診れない病気もありますが、病院は電子カルテになったり、多くのかかりつけ医をもって下さいと病院全体で動いたり、入院してきても退院の時は帰ってもらいますよという接客をしたり、以前は外来が1日900人から1,000人でしたが、今は600人ぐらいです。余裕がないのと違い、かなり分担されて、外来よりも入院患者さんに力を入れ、先生方は大変でもやっています。ここ10年と比べたら進んでいると感じています。

議会／かかりつけ医と言う話が出ましたが、健康な人が急に病気になって、ケガをして、今までどこにもかかっている人は、まず西脇病院と頭に浮かびます。そこで帰ってもらおうと言われても、今まで医者にかかっているのに、なかなか難しいと言う方がたくさんおられます。そこら辺の事をもっとPRをしていかなければならないと思うのですが。

検討会／人間60歳を過ぎれば何か出てきます。開業医の所に行って、かかりつけ医になってもらう事が一番いい方法ですが、急病の場合は病院へ来ていただき、そこで診断がついて、高血圧ならこれだけの薬を飲んでくださいとなったときは、当病院ではなく、開業医へという形になります。

検討会／急病になった時、時間外の時、調子が悪くなった時に病院があります。だからそうで無い時に開業先生にかかれて、まず見ていただいて、あなたはどこの科がいいですよとっていただく。救急のために病院は準備しておかなければいけません。

検討会／かかりつけ医から言わせていただくと、病状の箇所だけがかかりつけ医ではありません。健康な時にかかりつけ医に診てもらおうという事を住民の中に意識を持ってもらいたいと思います。

議会／フォーラムの後で中学生の作文を見せてもらいましたが、子どもたちはフォーラムを受けて、看護師になりたいとか、医療関係の方に勤めたいとかの意見が多々あったと思います。子どもたちが10年後に看護師になって西脇に戻ってきたらいいなと言う期待があると思います。その為に西脇独自では看護師就学金貸与制度が独自に制定されていますが、看護師さんはある程度確保できても、医者への制度と言うのか、西脇へ帰ってきてもらう風なことができればいいと思うのですが、医者の確保は今では回復されているのですか。

検討会／西脇病院もそうですが、基本的には大学からの派遣だったのが、制度が変わったときに、大学の方も医者が必要となって、かなり引き上げられました。西脇を希望する人があまりいなかったり、希望するところに行くようになりました。田舎に行かない状況でしたが徐々に少し昔に戻ったと思います。大学の力がちょっと出てきたようになって、科によって違いますが、大学も西脇も危ないなと言うときに西脇出身の先生方は帰ってきてくれました。彼らが居るなら帰ろうかなと地元を選んでくれて、それが西脇の奇跡のように呼ばれている事があって今でも、内科医の勤務医がいます。非常に安定感があります。ただ次の代を考えたときに、西脇を魅力がある土地にしなければなりません。何とんでもなく地元が、みんなが持っているようなまちになれば、帰ってくる人も西脇出身でない人も、西脇のまちは良いらしいと言うことになります。医療の面もそうですが、他の面でのインフラも大事です。地域医療検討会も西脇の魅力を出すことを考えています。

検討会／議員の皆さんも関心を持たれて、市長も行政も動いてくれたぶん、魅力あるまちに繋がると思います。

議会／市長の施政方針の一つに住みやすさの復活を掲げられ、それはまさしく医療・安心・安全なまち、子どもを育てやすいまちだと言う事を言い続けていますが、医療の大切さは、私たちも承知しているところです。どうしたらいいのかはわからないのが本音です。

議会／西脇病院の話がでましたが、今後の病床機能の明確化と、ある程度良くなれば自宅で医療を受けていただきたいという在宅医療が増えてくると思います。西脇病院の方向性としても、そのように答えています。私もそうだと思います。人口減少、少子化の時代で開業医の方、かかりつけ医の方が大変忙しくなるんじゃないかなと思うのですが。

検討会／地域医療ケアの関係では、病院としては、今は急性期で320床全部で急性期、これが2年に1回診療報酬の改定があり、今度は3月の終わりぐらいに細かい内容が出ます。国は急性期のベッドを減らしたい。診療報酬の条件がどういう条件が出るのかが、まず一つ大きいです。それをクリアできるだけのものが西脇病院にあるのか、非常にハードルを上げられて急性期としてやっていくのが難しいふうになると、やはりその在宅に向かう前の回復期みたいなベッドを作らなければなりません。急性期の人たちを全員受け入れられるかどうかという事です。大きい病院としてのかじ取りの時期だと思っています。地域ニーズを含めて考えなければなりません。在宅に回し介護保険でどんどんやれという話もありますが、在宅に帰れる人は帰っていただき、そうで無い人は、そういう病院で1か月2か月リハビリをして家に帰っていただくかというふうな地

域全体の連携になります。そうではなしに西脇病院でそれをやるとなったら、回復期のベッドになりますので、急性期の方から移ったりとかしてもらいながら、やっていく事も一つの方法です。全部が急性期のベッドのままでいくのか、一部そういう回復期、慢性期のベッドにするのか、みんなで議論しているところです。急性期の方が、やはりたくさん医療をするから収益もあります。病院としては収益もあるし、地域のためになると考えたら、急性期の病院、それぞれの地域にあるのはいいと思っていますし、全く急性期を全部やめるとするのは絶対あり得ないし、一部そういう包括ケアベッドを入れるかどうかと言う所は、いったん入れられたらなかなか戻せないと言われていていますので、特に西脇病院は外科、脳外科は非常に頑張っているのではほとんど急性期ですが、行政や患者さんの動向を見て決めていきたいと考えています。

検討会／西脇病院だけで考えたらダメで、北はりま圏域で考えなければならない非常に難しい問題です。医師会と病院の先生が連携を密にしなければいけない状態で、幸いにして、病院と我々がうまくやってきているので、この機会にやらないと進めないし、危機感を持っています。

議会／今回こういう形でさせていただいたのも、昨年、医療と介護総合法案が可決され、議員として、どういうふうに考えていったらいいのか。とりあえず今、それぞれの活動されている事の内容を聞かせていただいた次第です。

議会／地域医療検討会を市として全体的にどう進めていくのか、条例の中にあるように、医療、保健、福祉を考えれば、医療関係は先生方が医療の最前線で頑張っていると思います。もちろん医師をどうやって増やすとか、行政施策的に必要だと思っています。保健関係では病気にならないようにしなければいけないし、なったらなったで病気のかかり方もあります。その中で健康づくりをどうするのか、歩いたりしている人もいます。スポーツにどう絡んでくるとか、福祉は確実に行政施策と思っていますので、地域医療検討会をどのように発展させるか、行政がどのように仕掛けていくのかが重要だと思っています。たとえば、スポーツ推進のメンバーも入っていただく、子育て学習センターのメンバーも入ってもらう。議員もそれを行政の方に投げかけていかなければならないと考えているが行政としてはどう考えるのでしょうか。

検討会／地域医療をどのように、行政としてどう支えていくかは手探りの状態で、いろいろなご意見を聞かせていただきたいと思っています。

議会／明石の場合はビルの一角を借りて、8時半から5時という医者が非常に多い。だから、救急なんかは対応がしにくいとおっしゃっていました。それを聞いたら今、西脇で頑張っている医者がいらっしゃるのを非常にびっくりされる。使命感みたいなものを持ってそうされたのでしょうか。

検討会／いかに新しい先生を取り込んでいくかというのが重要で、地域包括ケアとしてもこれから組んでいくことが目標です。それを今やと動き始めている状況であり、そうしないと明らかに地域が崩壊していきます。

#### 4 閉会挨拶／高橋博久議員

今回の会議は地域医療について、一年間かけて関係の皆さんと連携していく取り組みの一つです。まだまだ分からない事が多くありますが今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 地域医療を支える市民の会」との一般会議

1 開催日 平成28年2月16日(火) 午後7時30分～9時15分

2 場所 西脇市議会委員会室(市役所2階)

### 3 出席者

(1) 地域医療を支える市民の会(6名)

生田頼夫会長、新谷千久男事務局長、宮下紘一郎・朝井眞吾・高瀬弘行・清水泰明

(2) 文教民生常任委員会(8名)

司会／宮崎春貴

記録／高橋博久

委員／村井正信委員長、坂部武美副委員長、浅田康子、松本和幸、岡崎義樹、中川正則

(3) 総務産業常任委員会(3名)

古西祐子、高瀬洋、東野敏弘

(4) 傍聴人(1名)

村井公平議長

### 4 以下、会議概要

○あいさつ／村井正信文教民生常任委員会委員長

昨年4月、医療と介護の法案が可決し、地域医療を委員会での特定所管とし、市内で地域医療を支えておられる関係団体と一般会議を持つことになりました。今後の推進の参考としたいので活発な意見交換をお願いいたします。

○あいさつ／生田頼夫地域医療を支える市民の会代表

市民の会として今まで活動してきたことをお伝えし、皆さんの意見を今後の活動の参考としていきたい。

○市民の会、議員の自己紹介

○経過説明／地域医療を支える市民の会設立から取組状況について 新谷氏

平成23年5月から設立に向けて会合を重ね、平成24年7月3日に産声をあげました。

西脇病院の医師数激減による危機から立ち上がった地域医療検討会の中で、若いお母さん方の活動が小児医療を守る会としてあるように、地域医療検討会とは違う一般市民を中心とした活動の会として立ち上がった。

最初に取り組んだ課題は、「病院の待ち時間問題」「看護師の職場環境におけるアンケート」です。これらを踏まえ、その後は NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)の資料を生かし、「地域の宝」市立西脇病院を守り育てるために、市民の立場として【出来ること】また【理解すべきこと】について、毎月の定例会で検討し、普及活動について協議しています。

「医者にかかる10箇条」で一般患者の意識改革を、区長会の協力や人権学習会を通して、また「いのちとからだの10か条」によって幼稚園・保育園の園児を対象に命の大切さについて、紙芝居講座を開催し活動を展開しています。

○質疑・意見

議会／毎月定期的に開催され、活動内容を検討されているとのことですが、資料は何を？

市民の会／NPO法人コラムの「医者にかかる10箇条」を活用しています。

議会／看護師アンケートの内容についてお聞かせください。

市民の会／どの立場でアンケートをとるか、看護師の立場からか、市民からかを悩みましたが、中立の立場で実施、行動しています。看護師の笑顔が患者には薬となっています。

議会／アンケートによって病院が変わったと思うことはありますか。

市民の会／患者と向き合うようになったと思います。挨拶、笑顔で接するようになったと感じました。

議会／紙芝居の内容についてお聞かせください。

市民の会／園児たちに命の大切さをわかってもらう内容です。

議会／紙芝居で脳梗塞を取り上げていただければと思うのですが。

市民の会／子どもにおじいちゃんおばあちゃんの現状を知ってもらうことも大切だと思っています。

議会／これからの活動の方向は

市民の会／できるだけ多くの方に理解して欲しいと思っています。区長会を通して協力をお願いしています。前竹内区長会長からも協力すると言ってもらっています。

議会／会の現状と、苦勞されている部分は

市民の会／12人という少人数での活動ですので、若い人にも入って欲しい。活動資金の確保にも悩んでいます。

議会／活動を通しての喜びは

市民の会／紙芝居にしても手法を凝らしています。園児は30分我慢しています。思っていた以上に素直に受け入れてくれていると感じています。

議会／看護師の確保は

市民の会／今回の法改正で看護師の届出制度が成立しました。辞められた看護師が復帰できるような人材確保に向けた支援も考えていきたいと思っています。

議会／これからの課題は

市民の会／地域包括ケアシステムなど、在宅医療が重要となってきていますが、在宅でどこまで可能なのか。病院は早く追い出そうとするようにとらえられています。医療フォーラムも市民参加が少ないので多くの市民に来ていただきたいと思っています。

○閉会あいさつ／坂部武美副委員長

活発な意見交換をしていただきありがとうございました。医療機関、市民、そして行政が一体となった推進が重要と考えています。議会としても考えていきますので、西脇市の地域医療を支えるためにも今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



## 「西脇小児医療を守る会」との一般会議

1 開催日 平成28年2月18日(木) 午前10時～11時30分

2 場所 西脇市議会委員会室(市役所2階)

### 3 出席者

(1) 西脇小児医療を守る会(4名)

富永なおみ代表、宮崎敦子、石井真理子、大垣佳子

(2) 文教民生常任委員会(8名)

司会／中川正則

記録／浅田康子

委員／村井正信委員長、坂部武美副委員長、岡崎義樹、松本和幸、宮崎春貴、高橋博久

(3) 総務産業常任委員会(5名)

古西祐子、村岡栄紀、高瀬洋、岩崎貞典、林晴信

(4) 傍聴人(1名)

村井公平議長

### 4 以下、会議概要

○あいさつ／村井正信委員長

西脇市議会で地域医療と病院について文教民生常任委員会の特定所管とし、勉強しようということになりました。

医療と介護の法案(地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律・医療介護総合確保推進法)が2014年6月18日に可決・成立し、これについて医療と介護の体制を考えなければなりません。忌憚のない意見交換をお願いしたい。

○経過説明とあいさつ／富永なおみ・西脇小児医療を守る会代表

2007年7月から西脇病院の小児科医が1人になり、入院診療が出来なくなり、このままでは、入院診療だけでなく小児科自体がなくなってしまうという危機的な状況であることを知り、この状況を一人でも多くの人に知ってもらうこと、そして、現在1人で頑張ってくださっているお医者さんの負担を少しでも減らすために出来る事は無いかと考え、西脇市で子育てをしているお母さんたちが2008年1月に「市立西脇病院小児科を守る会」を立ち上げました。

現在、その会は「西脇小児医療を守る会」に名称変更し、会員は42名です。

8年目が経過しましたが、全国的に医師不足であることや病気になった時の医院へのかかり方など、お母さんに知っていただきたいことを勉強する機会をつくりました。今は、2人の先生がいてくださっていますが、いつ8年前のような状況になるか危機感をもっています。

安心して西脇で子どもを産み育てられる地域をめざして活動を続けています。

会で作った冊子と、スタママ通信の冊子を健康づくりセンターであかちゃん訪問のときに保健師さんに配っていただき市とも連携しています。

お医者さんや看護師さんに「ありがとう」の気持ちを伝えるありがとうメッセージを作って病院や開業医の先生に届けています。

中学生にも医療の大切さを伝える活動も3年前から行っています。

## ○守る会、議員の自己紹介

### ○意見交換

司会／小児医療を守る会の活動を見て、議会もなんとかしなければいけないの思いから平成24年に「地域医療を守る条例」を制定し、地域医療を見直す機会ともなっています。今回の会議はもう一度再検討しようということから開催することになりました。

議会／立ち上げの時から、頑張っておられるのをみたり聞いたりして、まちが変わっていったように思います。お医者さんも高齢になられて、また1人になると大変であり、議会も一緒になってできることをしていきたい。

議会／小さい子どもが病院の診察時間が終わってから熱が出たりしたとき、お母さんはどうしたらよいのでしょうか。

守る会／心配なことで一番多いのが発熱のときで、家で一晩様子を見るのがよいのか、救急で病院へ行ったほうがよいのかは、お母さんの感じ方にもよりますが、いつもと様子が違っていたら、病院へ行く事をすすめています。

議会／毎月勉強会を開催されているのですか。

守る会／講演会のような勉強会でなく会員の発表会の形式でやっています。

議会／若いお母さん方が勉強会に参加しやすいように、例えば曜日とか時間などを工夫されているのですか。

守る会／勉強会に参加してもらうのがなかなか大変なので活動の場として各保育園へ出向いて話を聞いてもらっています。毎年、西脇こども園さんには説明に行かせてもらっています。会への参加の呼びかけをどうしたらよいのか難しいと感じています。

議会／お母さん方が仕事に、迎えにいかなければならない時があります。園や行政ができることは何かないですか。

守る会／仕事をされているお母さん方をどのように誘っていくかが課題です。

議会／西脇保育園では熱がでて、観てもらえるらしいですが他では無理だと言うことで、仕事をしているお母さんには仕事を途中で休まなければならない。市や議会が出来ることはないですか

守る会／自分たちの活動がこれでよいということはないですが細く長くやっていきたい。

議会／最近は脱臼はありませんか。

守る会／脱臼で困ったという話は聞いていません。

議会／小児科を守る会に変更になりましたが西脇病院の小児科を守ることも続けているのですか。

守る会／守る会は小児医療全体を守る活動です。

議会／冊子をおじいちゃん、おばあちゃんにも見てもらうよう手元にあったらよいのと思うのですが。

守る会／おじいちゃん、おばあちゃんの勉強会も機会があれば行いたいと思っています。告知がむずかしい。防災無線も使えません。

議会／子どもの具合を家族でみるだけでは、危険な時があります。お母さん方には

どのような指導をされているのですか。

守る会／状況をみて、お母さんには子どもがいつもと違うと思えばすぐに受診してもらおうよう呼びかけています。

守る会／私たちは、普通のお母さんばかりで特別なことをしているのでもなく、大きなことをしているつもりもありません。自分たちにできることをしてから、医師等へお願いしようと思っています。私たちはそんなにすごいことをしている団体ではありません。

議会／藤田先生は会に毎回参加されているのですか。

守る会／最初に教えてもらったのが藤田先生で、その教えを伝えて活動しています。根底は藤田先生の指導です。

守る会／私は勉強会のグループのスタママ担当です。先生とママたちがお互いに理解しあえるように話し合っています。カルタを作って普及活動もしています。子育て学習センターとも連携して勉強会を行っています。

議会／5・6年前に議会と懇談会をした時に、新しい人が入ってこないと言われていたが、何か、改善されましたか。

守る会／無理やり入ってもらっている人もいますが、みんな何かの時には手伝う気持ちでいてくれています。立ち上げ当初のメンバーが中心になっています。

議会／増えないのはなぜか、という分析はされていますか。こうしたら、増えるのではないかという話し合いはされていますか。

守る会／敷居を高くしているつもりはないのですが、具体的な案はありません。

議会／西脇病院の先生が2人でよいと思われていますか。柏原病院は4人です。

守る会／8年前のようにならないかと危機感は常にあります。

議会／2人のままでずーときているので、議会、行政が何をすべきか考えるべきであると思われませんか。

守る会／先生を増やして欲しいと言っても無理な現実がわかっています。

議会／3名にするのが無理な理由を市から届いていますか。

守る会／3名になればよいが、それがいかに難しいよく分かっているつもりです。まずは2名が確保されていればよいと考えています。今は安心モードになっているのも事実です。

守る会／私たちの活動は、先生を増やすことではありません。病気になった時にどうすればよいのかをみんなで考えていく会です。

議会／皆さんから議員や議会にしてほしいことはありませんか。

守る会／私たちは誰かに何かをしてもらって充実していこうというのではなく、自分たちでできることをしているだけです。3名にして欲しいという要望はありません。全国へ行かれることが多い議員さんに西脇の守る会の話をして広めてほしい。それが、増員につながると思っています。

議会／今以上に会の活動を進めるためには、子育て学習センターと連携できませんか。

守る会／学習センターはすでにいろいろな事業をされているので、さらに加えてほしいとは言えません。新しいことより、いままでを振り返って繰り返し学習しています。

議会／会員に男性はおられるのですか。

守る会／会は女性ばかりです。過去に企業では男性の勉強会がありました。

守る会／私たちお母さんのバックには男の人のバックアップがあることを言っておきたいと思います。

○閉会挨拶／坂部武美副委員長

2月の寒い中、署名活動をされていたときのことを思い出しました。議会、行政側もできることから頑張っていきたいと思っています。小児医療を守る会を無くすことはできないと思います。今後とも無理をせずに活動していただくことを期待します。